

社 会

言語活動を効果的に位置付けるための活用シート

	教科の目標	言語活動の指導のポイント
小学校	社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第 3・4 学年では、調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを、相手にも分かるように表現する学習活動を工夫する。 ◆ 第 5 学年では、調べたことや社会的事象の意味について考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する学習活動を工夫する。 ◆ 第 6 学年では、調べたことや社会的事象の意味について広い視野から考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する学習活動を工夫する。
中学校	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地理的分野では、地図を活用した説明、解釈を加えた論述、意見交換などの学習活動を工夫する。 ◇ 歴史的分野では、時代を大観した表現活動、各時代における変革の特色を考えて時代の転換の様子を捉える学習活動など、歴史的事象を考察・判断し、自分の言葉で表現するよう学習活動を工夫する。 ◇ 公民的分野では、社会的事象についての説明、論述、議論などを通して考えを深めるなどの学習活動を工夫する。

言語活動としての要素

要素Ⅰ 自己の思考		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題から自分なりの仮説を書く。 ○ 学習課題の結果を予測して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の課題に対して自分の考えをもつ。 ○ 自分の考えをどのように表現するか考える。 ◇ 学習問題について考えさせる場面では、地図や資料等を活用して、当事者の立場を考えた上で、自分の考えをワークシートに書かせる。 ◇ 学習課題を把握し、予測させる場面では、写真や資料を提示し、自分の解釈を書かせる。
要素Ⅱ 伝え合い		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明らかにして相手に分かりやすく説明する。 ○ 課題解決の望ましい方法について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者との伝え合いを通して、多様なものの見方・考え方に触れる。 ◇ ワークシートやノート等に記述した、自分の考えを地図や資料等を用いて説明させる。 ◇ グループや学級での話し合いでは、教科書、ノート等で既習事項を確認させ、根拠を明確にさせ、論理的に考えさせる。
要素Ⅲ 思考のまとめ		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が調べたことを比較、関連付け、総合して考え、自分の考えを再構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者との伝え合いを通して、再び自分の考えを深める。 ○ 自分の考えを自分の言葉で、他者によりよく表現する。 ◇ 当事者の立場に立っての討論を通して、課題解決のために何が大切かを理解させる。 ◇ 学習課題に対しての話し合いを通して、自分の考えを深めるなど、再び構成し、根拠を明確にしてノートにまとめさせる。

言語活動を支える基盤

基本的事項の理解	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の基本的事項を理解する。 ○ 各教科等に必要な用語や記号及び表現を理解する。 ○ 学習課題の理解に必要な社会的事象に関する用語の意味を理解する。 ○ 地図や統計などが表している意味を理解する。 ○ 新聞、読み物、統計などの資料の活用の仕方を理解する。 ○ 資料の収集、選択、処理に関する方法を理解する。
学習情報の獲得	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験などを含めた広い意味での「教材」から情報を得る。 ○ 教科書、ノート、資料等から既習事項を確認する。 ○ 地図やグラフ、調査データなどから、事象や特色を読み取る。 ○ 観察や調査の活動を通して、社会的事象を捉える。